

『ちゃぐりん』食農クイズ2023年1月号版 解答・解説

問題		解答	掲載ページ	解説
1	あんこ入りのもちが入った雑煮を食べる地域がある	○	4 69	香川県では、白みそ仕立ての汁にあんこ入りの丸もちが入ったお雑煮が食べられています。お正月に食べるお雑煮は地域によって、おもちの種類・汁の味つけ・中に入れる具などにちがいががあります。
2	おもちは「ハレの日」に欠かせないものである	○	4 69	昔からお正月やお祭りなどの特別な日のことを「ハレの日」といいます。おちはハレの日の特別な食べ物として、日本人に愛されてきました。おちを食べることで、病気をすることなく、健康で元気に暮らせることを願ったといわれています。
3	ハチミツは一種類の花からしかできない	×	19	ミツバチが集めた花の種類によって、ハチミツの味やかおりが変わります。ミツバチが数種類の花から集めてきたミツを「百花蜜(ひゃっかみつ)」、1種類の花から集めてきたミツは「単花蜜(たんかみつ)」といいます。
4	ミミズは畑にとってよくない生きものである	×	28	ミミズは畑の土をよくしてくれる生きものです。ミミズが土の中の微生物を食べて出すふんには野菜が育つ栄養がたっぷりふくまれています。また、土を小さなだんご状にもしてくれます。
5	堆肥は牛やニワトリの肉でできている	×	28	牛やニワトリなどのふんを発酵させたものを「動物性堆肥(どうぶつせいたいひ)」といいます。稲わらや落ち葉などを発酵させた「植物性堆肥(しょくぶつせいたいひ)」もあります。
6	ペットも避難所に連れていくことができる	○	62	避難所にはペットも受け入れてくれる所もあります。ただし、ペットは別の部屋で過ごさなくてはならなかったり、ペットの受け入れを許可しない避難所もあります。自治体や避難所ごとに対応が異なりますので、前もってよく確認しておきましょう。
7	マイクロプラスチックというゴミは大きい	×	75	海へ流れ着いたプラスチックごみは波にもまれてどんどん小さな破片になっていきます。5円玉の穴より小さな「マイクロプラスチック」と呼ばれるゴミの問題は深刻です。魚がエサと間違えて食べてしまい、体の中が傷ついたりします。その魚を食べた人間の体にも影響があるといわれています。
8	かつてカレーライスが高級料理だった	○	125	阪急百貨店ができた昭和4年頃は、「ライスカレー」という名前の高級料理でした。お金がなかった人たちはライスだけを注文してソースをかけた「ソーライス」を食べました。
9	年末年始は牛乳の消費が増える	×	155	年末年始は牛乳の消費が減ります。理由は学校が冬休みで給食がなくなるのと、お正月でおせち料理を食べる牛乳を飲む人が少なくなるからです。乳牛は季節にかかわらず毎日乳を出すので、しぼるのをやめるわけにはいきません。積極的に飲んだり、料理やおやつに取り入れていきましょう。
10	世界には、パンノキの実を食べる国がある	○	35	南太平洋のほぼ中央に位置し、118の島から成り立つフランス領ポリネシアでは、パンノキの実を「ウル」呼ばれ、あげてチップスにしたり、丸焼きにしたりして食べられています。